

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 8 月 21 日(2023.8.21)

【公開番号】特開 2022-32866(P2022-32866A)  
【公開日】令和 4 年 2 月 25 日(2022.2.25)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-034  
【出願番号】特願 2020-137137(P2020-137137)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 5 年 8 月 10 日(2023.8.10)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

所定の設定条件が成立したことに基づいて、予め定められた第 1 の有利度合いに設定された特定の遊技状態を設定する遊技状態設定手段と、

前記特定の遊技状態において予め定められた特定条件が成立したことに基づいて、当該特定の遊技状態の有利度合いを、前記第 1 の有利度合いとは異なる第 2 の有利度合いに設定する設定手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 7  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 8  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 9  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 0  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 3

30

40

50

|                    |    |
|--------------------|----|
| 【補正方法】削除           |    |
| 【補正の内容】            |    |
| 【手続補正 7】           |    |
| 【補正対象書類名】明細書       |    |
| 【補正対象項目名】0 0 1 4   |    |
| 【補正方法】削除           |    |
| 【補正の内容】            |    |
| 【手続補正 8】           |    |
| 【補正対象書類名】明細書       |    |
| 【補正対象項目名】0 0 1 5   | 10 |
| 【補正方法】削除           |    |
| 【補正の内容】            |    |
| 【手続補正 9】           |    |
| 【補正対象書類名】明細書       |    |
| 【補正対象項目名】0 0 1 6   |    |
| 【補正方法】削除           |    |
| 【補正の内容】            |    |
| 【手続補正 1 0】         |    |
| 【補正対象書類名】明細書       |    |
| 【補正対象項目名】0 0 1 7   | 20 |
| 【補正方法】削除           |    |
| 【補正の内容】            |    |
| 【手続補正 1 1】         |    |
| 【補正対象書類名】明細書       |    |
| 【補正対象項目名】0 0 1 8   |    |
| 【補正方法】削除           |    |
| 【補正の内容】            |    |
| 【手続補正 1 2】         |    |
| 【補正対象書類名】明細書       |    |
| 【補正対象項目名】0 0 1 9   | 30 |
| 【補正方法】削除           |    |
| 【補正の内容】            |    |
| 【手続補正 1 3】         |    |
| 【補正対象書類名】明細書       |    |
| 【補正対象項目名】0 0 2 0   |    |
| 【補正方法】削除           |    |
| 【補正の内容】            |    |
| 【手続補正 1 4】         |    |
| 【補正対象書類名】明細書       |    |
| 【補正対象項目名】2 3 0 7 6 | 40 |
| 【補正方法】変更           |    |
| 【補正の内容】            |    |
| 【2 3 0 7 6】        |    |

上述した各遊技機のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 2 3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態

を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、遊技者に有利となる当たり遊技が実行されるものがある。かかる遊技機の中には、当たり遊技の終了後に、遊技者にとって有利度合いが高い遊技状態を設定することで遊技者の遊技に対する興趣向上を図っているものも存在する（例えば、特許文献1：特開2001-038007号公報）。

しかしながら、更なる興趣の向上が求められていた。

本技術的思想は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的としている。

<手段>

この目的を達成するために技術的思想1の遊技機は、所定の設定条件が成立したことに基づいて、予め定められた第1の有利度合いに設定された特定の遊技状態を設定する遊技状態設定手段と、前記特定の遊技状態において予め定められた特定条件が成立したことに基づいて、当該特定の遊技状態の有利度合いを、前記第1の有利度合いとは異なる第2の有利度合いに設定する設定手段と、を備える。

技術的思想2の遊技機は、技術的思想1記載の遊技機において、前記第2の有利度合いに設定されている前記特定の遊技状態は、前記第1の有利度合いに設定されている前記特定の遊技状態よりも、少なくとも所定の特典が付与され易くなる構成である。

技術的思想3の遊技機は、技術的思想1又は2記載の遊技機において、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、を備え、前記特定条件は、前記特典遊技の実行とは少なくとも異なる条件である。

技術的思想4の遊技機は、技術的思想3記載の遊技機において、前記特定条件は、前記特定の遊技状態が設定された後で、予め定められた特定回数の前記判別手段の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる外れ判別結果となった場合に成立する。

技術的思想5の遊技機は、技術的思想3又は4記載の遊技機において、前記遊技状態設定手段は、前記特典遊技の実行が終了した後の遊技状態として、前記特定の遊技状態と、前記特定の遊技状態よりも有利度合いが低い第1遊技状態と、を少なくとも含む複数のうち1の遊技状態を設定可能であり、前記第2の有利度合いに設定された前記特定の遊技状態は、前記第1の有利度合いに設定された前記特定の遊技状態よりも、前記判別手段の判別結果が前記特定の判別結果となって前記特典遊技が実行された場合に、前記遊技状態設定手段によって前記特定の遊技状態が設定され易い構成である。

<効果>

技術的思想1記載の遊技機によれば、所定の設定条件が成立したことに基づいて、予め定められた第1の有利度合いに設定された特定の遊技状態を設定する遊技状態設定手段と、前記特定の遊技状態において予め定められた特定条件が成立したことに基づいて、当該特定の遊技状態の有利度合いを、前記第1の有利度合いとは異なる第2の有利度合いに設定する設定手段と、を備える。

これにより、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

技術的思想2記載の遊技機によれば、技術的思想1記載の遊技機の奏する効果に加え、前記第2の有利度合いに設定されている前記特定の遊技状態は、前記第1の有利度合いに設定されている前記特定の遊技状態よりも、少なくとも所定の特典が付与され易くなる構成である。

これにより、特定条件が成立すると所定の特典が付与され易くなるので、特定条件が成立することを強く期待して特定の遊技状態における遊技を行わせることができるという効果がある。

技術的思想3記載の遊技機によれば、技術的思想1又は2記載の遊技機の奏する効果に加

10

20

30

40

50

え、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、を備え、前記特定条件は、前記特典遊技の実行とは少なくとも異なる条件である。

これにより、特典遊技を介さずに特定の遊技状態の有利度合いを可変させることができる斬新な遊技性を実現することができるので、遊技者の遊技に対する興趣をより向上させることができるという効果がある。

技術的思想 4 記載の遊技機によれば、技術的思想 3 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記特定条件は、前記特定の遊技状態が設定された後で、予め定められた特定回数の前記判別手段の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる外れ判別結果となった場合に成立する。

10

これにより、特定の遊技状態が設定された場合に、外れ判別結果が連続することを強く期待させる斬新な遊技性を実現することができるので、遊技者の遊技に対する興趣をより向上させることができるという効果がある。

技術的思想 5 記載の遊技機によれば、技術的思想 3 又は 4 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記遊技状態設定手段は、前記特典遊技の実行が終了した後の遊技状態として、前記特定の遊技状態と、前記特定の遊技状態よりも有利度合いが低い第 1 遊技状態と、を少なくとも含む複数のうち 1 の遊技状態を設定可能であり、前記第 2 の有利度合いに設定された前記特定の遊技状態は、前記第 1 の有利度合いに設定された前記特定の遊技状態よりも、前記判別手段の判別結果が前記特定の判別結果となって前記特典遊技が実行された場合に、前記遊技状態設定手段によって前記特定の遊技状態が設定され易い構成である。

20

これにより、特定条件が成立して第 2 の有利度合いに設定されることにより、特典遊技が実行された場合に有利度合いが高い特定の遊技状態が設定される可能性が高くなるため、特定条件が成立した後で特定の判別結果となることを強く期待させる斬新な遊技性を実現することができるという効果がある。

30

40

50